



TCA ニュース

= 2003年12月発行 = 【No. 177】

発行 東京サイクリング協会 広報委員会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-11 Tel・Fax 03-3541-6540

サイクリストの五楽 輪楽・自転車を楽しむ 行楽・旅を楽しむ 道楽・道を楽しむ 友楽・友と楽しむ 遊楽・遊びを楽しむ

奥多摩・日原 秋の一泊サイクリング感想



TCA会員：川端 俊彦

昨年入会の「新人」川端です。待ちに待った11月15日、集合地点の奥多摩駅までは予め試走していたので、のんびりと走っていたところ、途中から追い越されたきれいな赤いフォールディングバイク（以下、FBという）をちょうど良い目標として、離されないよう懸命に走る。小径タイヤのFBなんぞでは山中のサイクリングは不可能なはず。今回のメンバーではなかろうと思いきや集合してビックリ。この人こそ、今回のサイクリングのメンバーのひとり内田さんであった。

次々に集まってくるメンバーの皆さんの自転車が私にとっては初めて見るものばかり。挨拶もそこそこに色々教えてもらう。ビンテージものらしきランドナー車、大径タイヤのシクロクロス車、何故か片方の変速レバーの無いMTB、上品なデザインのFB等々。なお、私のは最近入手のMTB。（家族共用の13インチサイズ）

いよいよ皆で走り始めると、まずは、大変な急坂。私は、ワイドレンジギヤを頼りに皆に付いて行くのがやっとであった。平石橋から宿までの階段道を、荷物付きバイクを担いで登ったのも初体験。バイクの軽さと荷物を少なくすることの大切さを痛感した。ふうふうの体で到着した平石山荘は、築150

年の元養蚕農家。その二階は、山小屋風でとても良い感じであった。

翌朝、山荘から眼下に見える日原川の深い谷には雲がたなびき、南東の尾根から朝日が昇ってくると、山の景色が刻々と美しい変化を見せてくれる。久しぶりに高い山に登った気分。

本日のコースは、まず、日原鍾乳洞。かなりの坂が日原トンネル（1,107m）を出た所まで続く。苦手のトンネルであるが、ここにはしっかりした歩道があって助かる。登竜橋から小川谷橋ま

での壮大な景色に目を取られてハンドルがふらつくことも。小川谷に入ると谷川が近くなり、銚子の滝を経てまもなくの日原鍾乳洞をフルに初見物。秋晴れにて観光客ならびに谷川の魚多し。水と大気と紅葉のきれいなこと。さて、ここで昼食かと思いきや、磯部リーダーは、更に上流側へ進めと言う。急坂と砂利道に苦労する。この小川谷林道の中程にてやっと昼食となる。ひと汗後のおにぎりのうまかったこと。この辺りは鹿の鳴き声も聞こえる自然林の感じ。食後にはまたメンバー各位のバイクを見学・試乗させていただく。



さすがは、こだわりのバイクと感心するばかりであった。いよいよ楽しみな下りコースとなったが、林道にはとがった岩石や凸凹が意外と多くてハラハラしつつのブレーキとハンドル操作が続く。日原鍾乳洞に近づき舗装路に戻ったところで、異様に天高くそびえる「梵天岩」がよく見える。ここから、一気にスピード走行に切り替わる。途中「萬寿の水」にて水分補給。その前にまず先程の林道での泥ハネを水洗する。



このあたり中日原は南斜面の美しい村落。柿の木に鈴生りの小さな実が青空にはえていたりして、まことにのどかな風景である。バスは日に5回しか来ないらしい。が。奥多摩駅まで快調な下りコースを楽しむ。ただし、途中には路面が全面水ヌレで、「スリップ注意」標識のある所など相当に緊張させられることもあった。駅前ではメンバーの方々が各種各様のバイクを手際良く輪行袋に納めるのに感心する。ここで皆と別れて昨日来た道を青梅駅前、羽村と順調に走り、夕暮れの「多摩川歩行者サイクリング専用道路」をのんびりと楽しみつつ、夕刻無事帰宅した。

今回のサイクリングは、私にとって初の本格的サイクリングでしたが、TCAメンバーは、幅広い人生経験・サイクリング経験の持ち主の方々の集まりであることを改めて知りました。

お陰様で、たまたま、私の65歳到達の第一日と第二日を、楽しい経験の日とすることが出来たことを感謝しております。これからもTCAの行事には極力参加しますので、よろしく申し上げます。

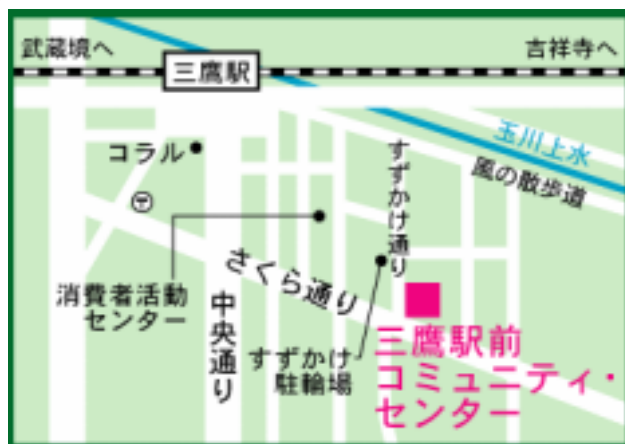
事務局からのお知らせ

新年懇親会

新春初詣ラン『調布七福神巡り』の後に懇親会を計画しております。懇親会だけの参加もOKです。都合のつく方は、ご参加ください。

- 日 時：平成16年1月4日(日)14時
- 場 所：三鷹駅前コミュニティーセンター
- 会 費：1,000円(予定)
- 問合せ先：東京サイクリング協会事務局
(電話：03-3541-6540)
- 注意事項：参加できる方は、事前に事務局にご連絡ください。

当日の問合せ、連絡先は、
090-9649-0625
(近藤隼人)へ



東京いいとこ自転車散歩ホームページ URL : <http://www.hi-ho.ne.jp/t-kitagawa/>